

令和3年9月24日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学
学長 丸 義朗
(公印省略)

人体病理学・病態神経科学分野 教授候補者の公募について

謹 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では、人体病理学・病態神経科学分野の教授を選考することになりました。

つきましては、神経病理学を含めた人体病理学への造詣が深く、病理学全般に関する教育、研究、病理解剖、病理診断を推進できる方を公募致します。また本学では、女性医師の活動の場の拡充を目指しており、教授職においても女性医師に広く門戸を開いていることも申し添えます。貴施設ならびに関連機関に候補者として適任者がおられましたら、ご周知賜わりますようお願い申し上げます。

謹 白

記

1. 公募の概要および選考方針

「社会に貢献する女性医人を育成する」という本学の建学の精神に則り、神経病理学を含めた病理学に対する造詣と理解が深く、女性医師の育成を中心とした分野のマネジメントに能力を発揮でき、同分野に特化した教育、研究、病理解剖、病理診断学分野と連携しての病理診断の推進、ゲノム医療への参画ができる方を公募いたします。

なお、本学では、男女共同参画を推進しています。上記の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針です。

つきましては、次の資格要件を満たす方を公募いたします。教授には本学大学院医学研究科の病理学講座人体病理学・病態神経科学分野基幹分野長を担当していただきます。

- (1) 医師免許および博士(医学)の学位を有すること
- (2) 教育歴(5年以上)、研究歴(10年以上)、診療歴(10年以上)の要件を満たすこと
- (3) 日本病理学会の病理専門医および日本臨床細胞学会の細胞診専門医の資格を有する方で、病理学に関して深い造詣を備え、卓越した能力を有すること
- (4) 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境の構築に積極的であること
- (5) 人格的に優れ、高い組織マネジメント能力を有し、分野の円滑な運営ができること

- (6) 研究業績として、査読付自著論文(*)15編以上(以下のAまたはBを計4編以上含むこと、ただしAを1編以上含むこと)または自著論文のインパクトファクターの合計が15以上の要件を満たすこと

A: 英文研究論文(自著原著)とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター0.5以上を一応の目安とする。

B: 英文研究論文(自著原著)で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるもの。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセスが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙(Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジェクト識別子(DOI)の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

(*)自著論文とは、本人が first author または equal contributor になっている論文、または corresponding author として明記されている論文を指す。

2. 提出書類等

詳細は「提出書類の記載要領等について(人体病理学・病態神経科学分野)」をご参照ください。

様式1～7については、本学ホームページ(HOME > 新着採用情報)からダウンロードしてください。<http://www.twmu.ac.jp/univ/>

(1)	履歴書	様式1	1部	補足資料もご提出ください
(2)	業績目録	様式2-1、 様式2-2	1部	
(3)	主要自著論文別刷 10編		各1部	
(4)	主要自著論文10編の説明	様式3	1部	
(5)	研究資金等の取得状況	様式4	1部	
(6)	病理診断実績	様式5-1、 様式5-2	1部	
(7)	自己評価書 (教育、研究、診断、社会貢献)		1部	
(8)	推薦者一覧		1部	
(9)	推薦書(厳封)	様式7	各1部	推薦者3名まで
(10)	提出チェックリスト		1部	
(11)	上記(1)～(8)および(10)の電子ファイルを保存した媒体(USB等のメディア)		1式	

※上記(1)の補足資料、(3)はPDFファイルで保存してください。

3. 提出方法

- (1) 上記の提出書類を一括して送付してください。
- (2) 出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー(ホッチキス)等は使用しないでください。
- (3) 封書等の表に「親展」「人体病理学・病態神経科学分野 教授応募書類」と朱書きしてください。
- (4) 提出に際しては、書留等で確実に受理が確認できる方法でお送りください。直接持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください。

4. 提出期限：令和3年11月4日(木)必着

5. 提出先：〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学
学長 丸 義朗 宛

6. 選考方法

- (1) 一次選考：書類審査
- (2) 二次選考：面接審査
- (3) 三次選考：公開講演審査
- (4) 最終選考：理事会審査

7. 問い合わせ先

東京女子医科大学 学務部医学部学務課
教授選考委員会事務局
有賀 淳也・高澤 位枝・後藤 由圭
med_senkou.bz@twmu.ac.jp

8. 備考

- (1) 提出書類等一式は返却いたしません。選考に関わる者以外に応募情報が漏洩しないよう厳重に管理の上、最終選考が終了しましたら速やかに当方にて責任を持って処分いたします。なお、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれることをご了承願います。
- (2) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただく場合があります。このために必要な旅費・滞在費等は応募者の負担といたします。また、追加資料の提出を求めることや、状況確認等で所属施設に伺う場合があります。
- (3) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人のみに通知するものとし、推薦者の方には通知いたしません。
- (4) 本学では、令和元年度から任期制を導入しており、採用初年度は原則として1年間の有期雇用となり、勤務実績等を考慮した上で更新されます。予めご承知おきください。

以上

教授候補者の提出資料について(人体病理学・病態神経科学分野)

以下をご確認のうえ、必要書類をご提出願います。

【記入要領】

(1) 履歴書(様式1)(写真貼付)

(様式1)に従い、学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会活動、賞罰に分けて記載してください。相互に重複することは差し支えありませんが、項目で記載する内容がない場合は「なし」と明記してください。

また補足資料として、履歴書に記載した、医師免許および博士(医学)の学位記の写し、日本病理学会の病理専門医および日本臨床細胞学会の細胞診専門医認定書の写し、卒前、卒後、大学院教育について、年間の講義内容・実習の時間数を記載した担当表やシラバスのコピー(過去3年分)とそのPDFを添付してください。

(2) 業績目録(様式2-1、2-2)

(様式2-1)(様式2-2)に従い、Excelファイル内の2つのシートに記載してください。

(3) 主要自著論文10編の別刷

主要な自著論文10編について、その別刷を各1部添付するとともに、PDFファイルを媒体に保存の上ご提出ください。(添付していただく別冊およびPDFファイルには「主要自著論文10編の説明」(様式3)に付した番号と同じ番号をつけてください。)

(4) 主要自著論文10編の説明(様式3)

(様式3)に従い、各々の論文の独創的な点について200字以内でご説明ください。

(5) 研究資金等の取得状況(様式4)

(様式4)に従い、直近10年間に取得した研究資金を記載してください。

(6) 病理診断実績(様式5-1、5-2)

(様式5-1)(様式5-2)に従い、病理診断実績を提出してください。

(7) 自己評価書

教育、研究、診療、将来への抱負等、下記①～⑦の各々について自己評価を具体的に記載してください(A4版、書式自由、各1枚以内)。

①教育：講義、実習、少人数教育(テュートリアル等)の経験、教育に対する考えについて記載してください。

②研究：主な研究分野とその業績、若手研究者の育成経験、研究に対する考えについて記載してください。

③診療：実績、専門領域、特殊技能、当該診療科における患者数の増加のための方策などについて具体的に記載してください。

④組織マネジメント：主導的立場で経験した実例を記載してください。例えば、診療科の運営、所属学会の委員会の委員長、社会活動における主導的立場など、種類を問いません。

⑤女性医療者の教育・育成：これまでの実績や、本学の建学の精神や理念を踏まえ、女性医療者の教育・育成についての考えを記載してください。

⑥将来への抱負：ご自由にお書きください。

(8) 推薦者一覧

推薦者の氏名・所属・役職を明記した一覧表を作成してください。(A4版、書式自由)

(9) 推薦書(様式7)

最初に応募者との関係と交流期間を明示の上、応募者の教育、研究に関する能力、組織マネジメント力および人物について客観的な評価を記載していただいでください。推薦者は3名までとし、その依頼先は国内外を問いませんが、提出期限に留意して依頼してください。推薦書は推薦者が封書に入れて厳封した状態で、応募者の資料と一緒にお送りください。

3. 選考方法

- (1) 一次選考：書類審査
- (2) 二次選考：面接審査
- (3) 三次選考：公開講演審査
- (4) 最終選考：理事会審査

4. 備考

- (1) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー(ホッチキス)等は使用しないでください。
- (2) 提出書類等一式は返却いたしません。選考に関わる者以外に応募情報の漏洩なきよう厳重に管理の上、選考終了後、当方にて責任を持って処分いたします。ただし、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれますことをご了承願います。
- (3) 選考過程において、追加資料等の提出を求めることや、状況確認のためにご所属の施設に伺う場合があります。
- (4) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただくこととなる場合があります。その際に必要な旅費・滞在費等については応募者の負担といたします。また、日程および実施方法はご本人に連絡いたします。
- (5) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人に通知し、推薦者の方には通知いたしませんことをご承知おきください。

5. 提出期限：令和3年11月4日(木) 17時 必着

6. 提出書類の送付先

〒162-8666 東京都 新宿区 河田町 8番1号
東京女子医科大学
学長 丸 義朗

※提出書類は「書留」等の記録の残る方法で郵送してください。

※郵便は「親展」とし、「人体病理学・病態神経科学分野 教授応募書類在中」と朱書きしてください。

7. 問い合わせ先

教授選考委員会事務局

学務課 有賀 淳也・高澤 位枝・後藤 由圭

med_senkou.bz@twmu.ac.jp

以上